

西南珍聞

廣島各縣



俗稱西郷星之圖

大阪日報云此節每夜一時頃より
異之方に現はるる紅色の星と
望遠鏡で観見ると西郷隆盛が
陸軍大将の官服を着て居る
体に見ゆると一涼を感ずる
ありうれば此處彼處の物于て
夜々更なるものと欽此妄説
日々盛ん多くと云ふ是ハ火星

土星なるが如く常ハ
火星の南方に當りて輝く
木星なる北方に薄くかすむ
光明を發する故に一目見て
遊星に似て恒星の如く
變り多しと此遊星時として
光輝をまする年期きつらうと
其運行線道の太陽に近づけ
たらみく火星地球も又
近寄らうとある故にむづかりも
増しそのかぎり大きくもなる
なりと東京繪入新聞より出ると
茲に畧して記すものなり

遊星に似て恒星の如く
變り多しと此遊星時として
光輝をまする年期きつらうと
其運行線道の太陽に近づけ
たらみく火星地球も又
近寄らうとある故にむづかりも
増しそのかぎり大きくもなる
なりと東京繪入新聞より出ると
茲に畧して記すものなり



西郷隆盛

長谷川町西郷隆盛
西郷隆盛

75
70
65
60
55
50
45
40
35
30